

# 3次元多様体のエントロピー量

Masaaki Yamaguchi

オイラーの定数は、

$$\begin{aligned} C &= \int \frac{1}{x^s} dx - \log x \\ &= \int \left( \int \frac{1}{x^s} dx - \log x \right) \text{dvol} \\ &= \int \int \frac{1}{x^s} \text{dvol} - \int \log x \text{dvol} \end{aligned}$$

と表されていて、ヒッグス場方程式 + オイラーの定数 = ゼータ関数 と求まる。この方程式が、リッチフロー方程式にもなる。このリッチフロー方程式は、微分幾何の量子化でもあり、ガンマ関数とベータ関数、ガウスの曲面論、ヒッグス場、アインシュタインテンソル、オイラーの定数と全部の方程式が入っている。この方程式が、相加相乗平均となり、宇宙と原子となり、不確定性原理が宇宙の観測系が、宇宙では確率方程式と成り立っているが、異次元が合わさると、ノルムとしての3次元多様体の確率分布方程式でもあり、確率ではない、非線形方程式となっている。プランク長体積でもあるが、絶対的な方程式にもなっている。

$$\begin{aligned} &= \frac{d}{df} \int \int \frac{1}{(y \log y)^{\frac{1}{2}}} dy_m - \int e^{-x} x^{1-t} \log x dx_m \\ \int x^{1-t} e^{-x} dV &= \int x^{1-t} dm, \int x^{1-t} e^{-x} dV = \int x^{1-t} \text{dvol}, f = \gamma = \Gamma' = \int e^{-x} x^{1-t} \log x dx \\ &= \frac{d}{d\gamma} \Gamma^{-1} - (\gamma)^{\gamma'} \\ &= e^{-f} - e^f \\ &= \frac{d}{df} \int \int \frac{1}{(y \log y)^{\frac{1}{2}}} dy_m - \frac{d}{df} \int \int \frac{1}{(x \log x)^2} dx_m \\ &= 2 \cos(ix \log x) \\ \frac{d}{df} \int \int \frac{1}{(y \log y)^{\frac{1}{2}}} dy_m &+ \frac{d}{df} \int \int \frac{1}{(x \log x)^2} dx_m \\ &= \frac{d}{df} F = 2i \sin(ix \log x) \\ \frac{d}{df} F + \int C dx_m &= 2(\cos(ix \log x) + i \sin(ix \log x)) \\ &= 2e^{-\theta} = 2e^{-ix \log x} \\ &= \frac{d}{dt} g_{ij}(t) = -2R_{ij} \end{aligned}$$

$$\log(x \log x) \geq 2\sqrt{y \log y}$$

$$\log(x \log x) = \log x + \log \log x$$

この宇宙と異次元でのブラックホールとホワイトホールでの、宇宙と原子の運動量と位置の絶対的な不確定性原理となり、3次元多様体の確率分布方程式が、運動量と位置エネルギーが両方観測できる式にもなっている。円周上が固定されているために、運動量と位置エネルギーが両方観測できる式になっている。カルーツァ・クライン理論とハイゼンベルク方程式が、両方入っている。

$$\nabla\psi^2 = 8\pi G \left( \frac{p}{c^3} + \frac{V}{S} \right)$$

$$\nabla\psi^2 = 8\pi G\hbar + 8\pi \frac{V}{S}$$

ホワイトホールの原子とブラックホールの宇宙のエネルギーのエントロピー量でもある。宇宙がブラックホールとしてのヒッグス場方程式として、ホワイトホールが原子としてのプランク長体積でもある。

$$\square_v = 2\sqrt{2\pi G\hbar} + 2\sqrt{2\pi \frac{V}{S}}$$

原子としてのブラックホールのエントロピー量でもある。

$$\sqrt{2\pi T} = 2\sqrt{2\pi \frac{V}{S}}$$

この式から宇宙が無重力であることが表されている。

$$2\cos(ix \log x) + 2i\sin(ix \log x) = 2e^{-f}$$

$$2\sqrt{2\pi \frac{V}{S}} = \frac{d}{df} \int \int \frac{1}{(x \log x)} dx_m$$

これらの方程式から宇宙と異次元が warped passage になっている。: